

「ヨハネ福音書」は愛の万華鏡

—光を受けた登場人物が織りなすタペストリーとしての書物—



講師：レンボ・アンドレア（真生会館理事長）

本講座では、「ヨハネ福音書」を読む方法として、福音書を物語として読む、聖書神学における**ナラティブ（物語的）読解**という立場を取ります。中心になるのは、**登場人物**です。

登場人物をイエスとの関わりという視点で読んでゆくと、彼らはイエスの神秘を何らか映し出すと同時に、読者である私たち自身がそこに映し出される鏡にもなってきます。この読解の中で特に重要なのは、「**愛された弟子**」です。彼はみことばであるイエスから光を受け、それを多様な色に分けて反射します。その色の数だけ、物語に登場する人物と状況が存在します。

この物語的読解の試みを通じて、私たちは「**ヨハネ福音書**」が**愛の万華鏡**であることを理解できるようになるでしょう。また、この書物は**バチカン美術館に収められている、ラファエロ工房のタペストリーのような美しい織物**にたとえることができます。表側には、イエスの歴史的背景の中に、人々や動物たち、家や宮殿が織り込まれています。これらは特別な技法で織られており、歩きながら眺めると、人物たちがこちらを見つめ返してくるのを感じられます。タペストリーの裏側はまた興味深いものです。一本の連続した糸は表に現れたり沈んだりしながら全体の模様を形づくっています。この福音書も同じように織られているのです。



開講日時・場所：10/13, 11/10, 12/8 火曜日 10:30~12:00 真生会館 3 階 ネランホール

受講料：1,200 円（学生証提示で無料） ※ZOOM 配信、見逃し配信はありません。

お申込み：電話(03-3351-7121)、FAX(03-3358-9700)、Eメール(class@catholic-shinseikaikan.or.jp)

HP (QR コード) 公益財団法人真生会館 〒160-0016 東京都新宿区信濃町 33-4

アンドレア・レンボ 「ヨハネ福音書」は愛の万華鏡 受 講 申 込 書

お名前 _____

お電話番号 _____

Eメール _____



☐ 10/13

☐ 11/13

☐ 12/8